

☆ 視 点

世界の繊維需要、7年連続で拡大---2015年

Fiber Organon が 2015 年の世界の繊維需要と化繊生産を発表した。それによると、繊維需要は前年比 1.9%増、化繊生産(オレフィン繊維を除く)は 4.1%増と 7 年連続で増加しており、世界的にみた繊維市場は依然、拡大が続いている。

1. 2015 年の世界の繊維需要

2015 年の世界の繊維需要は、前年比 1.9%増の 9,482 万トンと 7 年連続で増加した。このうち化繊が 3.9%増の 6,963 万トン、天然繊維が 3.1%減の 2,519 万トンであった。

化繊の内訳は、セルロース繊維が 3.4%増の 514 万トン、合繊(オレフィン繊維除く)が 4.1%増の 5,948 万トン、オレフィン繊維が 1.3%増の 500 万トンとなった。

一方、天然繊維は、綿(コットン)が 3.4%減の 2,360 万トンと減少し、羊毛は 1.1%増の 115.7 万トンと増加に転じた。

表1. 世界の繊維需要

品 種	(1000トン、%)			
	2013	2014	2015	前年比
セルロース	4,796	4,973	5,143	3.4
合繊(オレフィン除く)	54,598	57,131	59,481	4.1
オレフィン	4,980	4,940	5,003	1.3
化繊計	64,374	67,043	69,627	3.9
綿	23,880	24,442	23,600	-3.4
羊毛	1,163	1,144	1,157	1.1
絹	160	178	184	3.4
天然繊維計	25,449	26,005	25,193	-3.1
総計	89,823	93,049	94,820	1.9

(出所) Fiber Organon、以下同様

(注) 化繊は生産、その他は消費統計に基づく

2. 地域別合繊生産

世界の合繊(オレフィン繊維を除く)生産量について、国・地域別で見ると、中国は前年比 5.2%増の 4,124 万トンと増加し、世界全体に占めるシェアは前年の 68.6%から 69.3%へと 0.1 ポイント拡大した。中国に次ぐ生産

国のインドは 3.9%増の 474.7 万トン。シェアは 8.0%で、世界全体に占める両国シェアの合計は 77.3%と 4 分の 3 以上を維持した。

アジアでは ASEAN が 5.8%増、バングラデシュやパキスタンを含む「その他アジア」が 3.2%増と、いわゆるアジア新興国での生産の伸び率は前年より緩やかとなった。日本 (3.4%減) や台湾 (3.5%減) では減産傾向が続いたが、韓国は 5.9%増と増加に転じた。

欧米では、西欧とトルコを加えた地域が 1.0%増、東欧・CIS が 2.0%減となった。米州は、米国が 2.5%減、その他米州も 5.3%減となった。

表2. 世界の地域別合繊生産

(1000トン、%)

国・地域	2013	2014	2015	前年比	同増減	構成比
日本	596	581	561	-3.4	-20	0.9
中国	36,995	39,206	41,242	5.2	2,036	69.3
韓国	1,594	1,639	1,736	5.9	97	2.9
台湾	1,954	1,912	1,845	-3.5	-67	3.1
ASEAN	2,928	3,019	3,193	5.8	174	5.4
インド	4,256	4,568	4,747	3.9	179	8.0
その他アジア	650	632	652	3.2	20	1.1
西欧+トルコ	1,875	1,843	1,861	1.0	18	3.1
東欧・CIS	487	456	447	-2.0	-9	0.8
米国	1,966	2,011	1,960	-2.5	-51	3.3
その他米州	788	733	694	-5.3	-39	1.2
中東・アフリカ・オセアニア	520	532	543	2.1	11	0.9
世界計	54,598	57,130	59,481	4.1	2,351	100.0
中国以外の計	17,603	17,924	18,239	1.8	315	30.7

(注) オレフィンを含まない

3. 品種別合繊生産

オレフィンを含む合繊生産は 3.8%増の 6,448 万トンとなった。主要品種は、長繊維では、ナイロン F が微減に転じ、ポリエステル F が 5.2%増の 3,617 万トンと続伸した。一方、短繊維は、ナイロン S が 8.2%増、ポリエステル S が 3.1%増、アクリル S は 0.3%増と、いずれも増加した。

オレフィンは、長繊維が 1.2%増の 440 万トン、短繊維が 1.1%増の 60 万トンと、いずれも増加に転じた。

表3. 世界の品種別合繊生産

(1000ト、%)

品種	2013	2014	2015	前年比
アクリルS	1,899	1,792	1,799	0.3
ナイロンF	4,182	4,331	4,321	-0.3
ナイロンS	167	168	182	8.2
ポリエステルF	31,900	34,341	36,170	5.2
ポリエステルS	15,465	15,441	15,941	3.1
オレフィンF	4,357	4,344	4,401	1.2
オレフィンS	622	595	602	1.1
その他	980	1,051	1,062	0.9
総計	59,572	62,063	64,478	3.8

4. セルロース繊維生産

セルロース繊維の生産は前年比 4.1%増の 501.1 万トと 5 年連続の増加となった。国・地域別では、中国が 2.2%増の 336 万トとなったほか、インドが 15.3%増の 51.1 万ト、タイが 23%増の 13.9 万トと全体の増加を牽引した。西欧も 2.9%増となった。一方で、インドネシア、台湾はほぼ横ばいにとどまった。

品種別では、衣料・家庭用に使用される普通レーヨン F(キュブラを含む)が 3.1%減の 25.3 万トと減少に転じ、タイヤコードなどで使用される強力レーヨン F は 4.0%増の 5.2 万トと増加に転じた。また、レーヨン S は 3.9%増の 479.3 万トとなり、増加傾向が続いている。

表4. 世界のセルロース繊維生産

(1000ト、%)

国・地域	2014	2015	前年比	品種	2014	2015	前年比
日本	63	59	-6.3	強力レーヨンF	50	52	4.0
中国	3,288	3,360	2.2	普通レーヨンF	261	253	-3.1
インド	443	511	15.3	アセテートF	48	46	-4.2
インドネシア	512	509	-0.6	レーヨンS	4,614	4,793	3.9
台湾	125	126	0.8	計	4,973	5,144	3.4
タイ	113	139	23.0	(注) リヨセル繊維を含まない。 世界のリヨセル繊維の生産能力は年産22万2,000トン。 (推定、2016年3月時点) (注) 普通レーヨンFはキュプラを含む。			
西欧	385	396	2.9				
東欧・CIS	18	18	…				
米国	25	23	-8.0				
その他米州	2	2	0.0				
世界計	4,813	5,011	4.1				

5. オレフィン繊維生産

オレフィン繊維の生産は、前年比 1.3%増の 500.3 万トン。西欧は横ばい、米国は 1.2%減と減少が続いた。トルコ(1.7%増)、中国(1.9%増)、その他の国・地域(2.5%増)は引き続き増加した。また、日本(2.1%増)と中東・アフリカ・オセアニア(2.5%増)は、増加に転じた。

品種別ではフィラメントが 0.1%増、ステープルが 1.2%増、スリット・フィルムファイバーは 2.1%増となった。

表5. 世界のオレフィン繊維生産

(1000トン、%)

国・地域	2014	2015	前年比	品種	2014	2015	前年比
西欧	561	562	0.2	フィラメント	1,713	1,714	0.1
トルコ	639	650	1.7	ステープル	595	602	1.2
米国	494	488	-1.2	スリット・フィルム	2,632	2,687	2.1
日本	189	193	2.1	計	4,940	5,003	1.3
中国	909	926	1.9				
その他アジア	926	949	2.5				
中東・アフリカ・オセアニア	561	575	2.5				
その他	661	660	-0.2				
世界計	4,940	5,003	1.3				